

長ねぎ

○越冬早取り苗の管理ポイント

- ・温度管理
本葉1枚展開しているので、ハウス内10℃前後に保ちます。

12月下旬以降、外気の最低気温がマイナスと予想される場合は、夜間のみトンネル被覆をします。

・水管理

12月以降は、培土が乾きにくくなっているため、灌水の間隔は培土の乾き具合をみて行います。灌水は日中行い、温度が低下する夕方は避けるようにしましょう。

山うど

○収穫に向けて万全な作業を

12月に入り、ハウスへの伏せ込み作業が本格化していますが、品種特性と伏せ込み時の留意点を把握し、収穫に向けて万全な作業を行って下さい。

・伏せ込み床は、ハウス内に融雪水が入らないよう明渠などで排水対策を万全にしましょう。

・伏せ込み後、加温を開始してからは温度管理に十分注意して下さい。20℃以下で管理し、萌芽後は15～17℃で管理して高温による腐敗が出ないように、こまめに温度を確認して下さい。

きゃべつ

○今後の作業について

加工きゃべつを栽培されている生産者は、雪が降る前に

収穫し、腐らないよう保存して下さい。

次年度の種子・苗の部会員用注文書が配布されています。まだ提出されていない部会員は、締切日までに必ず提出して下さい。また、次年度の新規作付者も大募集しています。作付希望者は営農企画課までお知らせ下さい。

アスパラガス

○伏せ込み作業、加温について

掘りとったアスパラガス株をハウスに伏せ込みましょう。ベッド枠を作り、電熱線を敷きましょう。1坪あたり150

W以上にしてください。株養成10aで10坪になります。

並べながら土を入れていき、株の上からも土をかぶせて芽が隠れるようにしましょう。最終的に目の部分が18度くらいになるように加温しましょう。急激に温度を上げるとアスパラガスに痛みが生じますので、ゆっくりと加温しましょう。

肥料・農薬の注文は忘れずに

○提出期限が近づいています

平成30年度用の肥料・農薬の予約注文書の締切が12月22日(金)となっております。ご注文される方は、忘れずに期日までの提出をお願いいたします。

青果物の栽培者募集

○青果物の栽培者募集について

現在JAでは、平成30年度から米政策が大きくかわることから、農家の所得向上に向けて青果物栽培を薦めています。

白神ねぎ、白神山うど、白神みょうが、白神きゃべつ、アスパラガスを中心に、スナップエンドウ、枝豆、とまと、きゅうり、小なすなどの野菜や生しいたけ、まいたけなどのきのこ類、花きのりんどうなどの品目を全国に向けて出荷していますので、お気軽にJAにご相談下さい。

連絡先

能代地区 (営農企画課 55-0777、販売課 55-0778)

二ツ井地区 (二ツ井営農センター 73-5193)

藤里地区 (藤里営農センター 79-1644)

経営試算表

秋田県作物別技術・経営指標一部抜粋

品目名	10a当たり粗収益(円)	10a当たり諸経費(円)	10a当たり所得(円)	労働力(時間)	1時間当たり所得(円)
ねぎ	864,000	601,000	263,000	246	1,069
山うど	370,000	298,000	72,000	212	340
みょうが	410,000	230,000	180,000	342	526
きゃべつ	360,000	282,000	78,000	68	1,147
アスパラガス(促成)	450,000	342,000	108,000	267	404
アスパラガス(露地)	330,000	230,000	100,000	282	355
スナップエンドウ	520,000	260,000	260,000	460	565
小なす	510,000	390,000	120,000	477	252
京ふき	150,000	113,000	37,000	90	411
りんどう	800,000	500,000	300,000	650	462